

# THE YMCA

## 日本YMCA基本原則

私たち日本のYMCAは、  
イエス・キリストにおいて示された  
愛と奉仕の生き方に学びつつ  
世界のYMCAとのつながりのなかで、  
次の使命を担います。

私たちは、  
すべての人びとが生涯をおして  
全人的に成長することを願い、  
すべてのいのちを  
かけがえのないものとして守り育てます。

私たちは、  
一人ひとりの人権を守り、  
正義と公正を求め、  
喜びを共にし痛みを分かちあう  
社会をめざします。

私たちは、  
アジア・太平洋地域の人びとへの  
歴史的責任を認識しつつ、  
世界の人びとと共に  
平和の実現に努めます。

2017年6月1日発行 (毎月1日発行)  
1947年10月27日 第三種郵便物認可  
本体価格45円 (外税) (送料62円)  
発行/公益財団法人 日本YMCA同盟  
〒160-0003 東京都新宿区本塩町7  
TEL: 03-5367-6640 FAX: 03-5367-6641  
URL: <http://www.ymcajapan.org/>  
発行人/神崎 清一 編集人/山根 一般  
印刷/あかつき印刷株式会社

## 本物に触れることの 大切さ

大阪国際大学教授・(公社)日本キャンプ協会理事

高見 彰



今年もキャンプの季節到来です。指導者はさまざまな願いを込めてキャンプを企画していきますが、どうもその「ねらい(効果)」が子どもたちに十分に届いていないのではないかと思います。その一因として、提供されている活動内容があまりにも浅く、その活動の持つ本質を学ばせないために、経験の深化もなく感動も感性も薄っぺらで、心の奥底にまで影響を及ぼすに至っていないことが考えられます。

毎年、夏になるとよく見かける活動に「魚の手づかみ」があります。流れをせき止められた川に放たれた川魚。背びれを半分水面に出しながら、必死で逃げる。追い回され弱り果てた魚に子どもや大人の手が容赦なく伸びる。つかんだ魚に逃げられまいとしてその手にも力が入る。子どもたちの中には捕まえる行為に満足して、「魚嫌いだもん」の一言で食べない子も見られます。捕まるまでにあれだけがき苦しんだ後の魚です、心情的に決しておいしいとは思えません。しかし、なんと残酷で自然界のパワーバランスを無視した薄っぺらな活動でしょうか。

小学生のころ、近所の池によくフナを捕まえにいきました。シャツやパンツを濡らしながら

水中の石の隙間にそっと手を入れる。滅多に気配を感じることはありませんが、それでも奇跡的に手に触れた時のあの興奮。手づかみにしようとしては水の中ではフナに利があり、手の隙間を縫って逃げてしまいます。捕まえられなくて当たり前の世界だからこそ、フナとのタックルに勝利した者は仲間から英雄視されたものです。真剣勝負の世界がそこにはありました。

そもそも魚なんて手づかみでなかなか捕まえられないから、「人間と魚との知恵くらべ」の結果として「釣り」をはじめとするいろいろな漁具や漁法が工夫され、文化として発達してきたはず。自分だったら「ここに隠れるな」「ここだったら流れも緩やかで餌も多そうだな」と魚の気持ちになって網を入れ、取れなかったらさらに思いを巡らせ作戦を立てていく。川をせき止めた魚の手づかみにそんな奥の深さは感じられません。

バーチャル体験がいつでもでき、魂を揺さぶるような機会が少ない時代だからこそ、何がホンモノで、何がパチモン(大阪の方では偽物、安物をこう呼びます)であるかを見極め、「体や心に焼きつく体験」に触れるキャンプを作りあげていきましょう。

## レポート

相手と向き合って  
心を合わせていくこと。  
(仏教・親和・共感的関係の意)

愛って  
身近なところに  
あるんだよ!!

日本キリスト教団  
奈良教会牧師  
栗原 宏介

福音書を読むと奇跡物語に目を奪われます。それはあり得ないような衝撃的な出来事です。二匹の魚と五つのパンで五千人がお腹一杯になったお話や数々の癒しの物語。「あり得ない」とか「信じられない」「すごい」「奇跡だ!」といったさまざまな反応があることでしょう。でも私はそのような奇跡的な結果ではなく、そこに至る過程やその基となる出来事の中にイエスの愛の在り方を見ます。

そのようなイエスの愛の業にいつも思いを向けています。なぜイエスはこんなにも魅力的なのだろうかと。考えていて思うことは、とても身近に一緒にいてくれる姿を見せてくれているから安心でき、そして心惹かれるのだということ。イエスはいつも日常を大切に示す姿を示して、当たり前に見える日常の中にこそ愛があることを教えてくれています。

では、一体イエスはどんなことをしていたのでしょうか。それは復活という最も信じたいような奇跡の後の彼の行動に象徴的に表れています。そんなすごいこと(復活)の後にどんな偉大なことをしたのかとついつい期待してしまうのですが、それは……相手の名前を呼ぶこと。挨拶を交わ

すこと。共に歩むこと。一緒に食卓を囲むこと。ご飯を食べること。何も特別なことはないのです。そこにあるのはいつもどおりの日常。

復活という非日常の中で、しかしあえて日常を貫くのです。その行動を通して変わらず一緒にいること、何も変わらないことを伝えます。でもそれこそがとても大事。向き合った相手に思いを向ける大切な行動であり、私たちはそのことに安心します。これこそが愛の本質であり、イエスの示した実践的な愛の業だろうと思います。私たちは、こうした当たり前のことをおろそかにしがちであり、そこにある恵みというものを忘れてしまうものだという事を思われます。当たり前すぎて気が付かないことがあるのです。

これから夏に向けてYMCAではいろいろなキャンプが企画されていくことでしょう。キャンプは非日常の中に身を置いて、そこで出会う仲間たちと色々な体験をして経験を積むことのできるとても良い機会です。そしてそれは非日常であるからこそ、あらためて日常にある恵みや素晴らしいを再発見できる最高の機会です。今年も各地で行われるキャンプが、日常に満ちあふれる愛と恵みを知る良い経験となりますように!



Vol.22

# We All Belong to YMCA

YMCAの活動に参画するユースからの発信

## 九州大学YMCA—麦寮(学生寮)

●内容：戦前期から九州大学を拠点に活動が始まり、1958年九州大学YMCA学生会館「名島寮」を開校。キャンパス移転に伴い2017年3月名島寮を閉寮し、同年4月より新築移転して「一麦寮」を新設。現在7人の寮生が生活する。キャンパス内での聖書研究に参加する学生と共にYMCA活動を続けている。



後列中央が塩原さん

私は九州大学YMCAの学生寮(名島寮)で2015年から2年間の通宿をしました。私たちの学生寮は、単なるアパートのようではなく、慣れ合いの閉鎖的なコミュニティでもなく、YMCA運動とともにキャンパス内外の社会へ、学生のさまざまな活動と向き合える場所であり、共同生活を通して学生が自己成長を志す場所です。名島寮の閉寮が近づくと、先輩たちが込めた想いを、新しい寮の一麦寮に引き継ぎなければならぬと考えるようになりました。

学生YMCAの魅力とは、自分とは異なる「ひと」や「もの」と出会い、対話し、共に進む方途を探ることであり、その刺激的な出会いであふれていることです。外に目を向ければ、大衆を煽動する政治リーダーが登場し、見せかけの強さを誇示し、異質なものを排除する世の中です。この4月から九州地区の共働スタッフを務めることになった私は、地区内の3つの学生寮と2つのサークル活動を支える中で、学生が自己成長を志すことができる機会を大切にしていきたいと考えています。

考えが違っても学生同士が共に考え、主体的に企画し、他者と共に歩みを進めていく社会の在り方を探る。その中で本当のリーダーシップとは何かを考え巡らせたいと思います。学生の話をよく聞いて一緒に悩み、一寮生としてスタッフとしても、自ら学生YMCAの魅力と力を背中で語ってまいります。ぜひ、これからも一麦寮や九州地区の学生YMCA活動にご注目、ご期待ください。

塩原 光(九州地区共働スタッフ・九州大学YMCA一麦寮)

## 大阪YMCA 「YMCA阿南国際海洋センター」

このスポットが自慢!

### 「山から海へながれる川・川・川……」



「見て見て!」ここには山から海へ流れる川が何本もあります。実はそこには、「カニ」が「これでもか!」というくらいたくさんいます。夏キャンプシーズン中、夕方になると子どもたちが集まってくる川。「カニめっちゃおもしろい!カニ釣りたい!」と元気な声が聞こえてきます。そう、ここは子どもたちの絶好の遊び場、いつもカニ釣り仲間が集っています。私はこの「カニめっちゃ釣れた!」【見て見て!】こんなにカニがまたで!と笑顔があふれるスポットが大好きです!

「おにぎり」のどっけおき!



### 「夜の海辺のキャンプファイヤー場」

私のおすすめスポットは、夜の海辺のキャンプファイヤー場です。ここは、子どもたちからは「トト島」の愛称で呼ばれている無人島「野々島」を真正面に見ることが出来ます。なぜ「夜」なのでしょう。ここでは野々島をバックにとてもきれいな星空を見ることが出来るからです。波の音を聞きながら、星空と海面に映る星をゆったり眺めるこの景色は、何よりも素敵な自然からの贈り物です。だからこそ私はここが大好き! お気に入りのスポットです。

## うちの自慢のキャンプ場 ④

このスポットが自慢!



頂上から、姫路市を見る

こんなことができる!



個性の分だけ、基地がある



個性の分だけ、基地がある

## うちの自慢のキャンプ場 ⑤

このスポットが自慢!



水の上に乗って、進む。これがSUP!

こんなことができる!

### 「SUP」

たくさんのマリンスポーツが楽しめます! カヤック、カヌー、ヨット、カッターなどたくさんの舟がある中で、最もおすすめの「SUP」です! 正式名はStand Up Paddle Board. 立ったままこいで進むサーフィンです。水面上に立ってこいでいると、まるで海の上を歩いているような感覚になります。足をキラキラ光る魚の群れが通過したら大興奮、浅い岩場はまるで足元に広がる天然の水族館です。こんなSUP体験、一緒に味わいませんか?

### 「セロ」のどっけおき!



「セロ」のどっけおき!

## 姫路YMCA 「太子キャンプ場」

兵庫県豊後郡

今日は、この道で行こう!



坂 祐美子 (リーダー名:らっこ)



ここでは恵まれた地形を利用したさまざまなプログラムができますが、私のおすすめはキャンプ場の裏にそびえる白毛山の山登り! というのも、白毛山の頂上からは、姫路市を一望することができ、晴天時は姫路城まで見えるのです! また、頂上まで至る道がいくつかあり、年齢や体力に合わせて選択できるので、何度登山しても飽きることがありません。登っている途中に、たくさんの自然があふれていることも魅力です。

こんなことができる!

### 「秘密基地づくり」

おすすめの遊びは何といっても秘密基地づくりです! 鹿茸やロープを使ってプランコを作ったり、木にハンモックを吊るしたり、竹や板を使って壁を作ったりと、いろいろな形の基地ができます。太子キャンプ場の広場で作るのもよし、「みんなには秘密、自分たちだけの場所になりたい」という時は山の中に入り、木で囲んで家のようにしてもよしと、出来上がった基地は本当に個性豊かなものになります。子どもたちは、板に落ち葉や小枝を貼った看板作りが人気です!



個性の分だけ、基地がある



個性の分だけ、基地がある

渡部 知花 (リーダー名:クロワッサン)

## 京都YMCA 「サバエ教育キャンプ場」

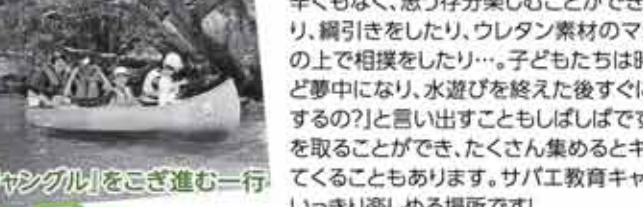
このスポットが自慢!

### 「琵琶湖の『ジャングル』」

カヌーのプログラムで最高なのは、琵琶湖の風を感じながらオールをこげることです。キャンプ場から約20分こぎ進めると、岸沿いの琵琶湖の中から木々が生えている場所があります。通称「ジャングル」。木と木の間にカヌーで通ったり、枝の下ギリギリの所をくぐり抜けたり、狭い隙間をみんなでこぎ進めていきます。「右! もう少し右!」少し頭を低くしてカヌーの上でリーダーとリーダーの音が響きわたり、アマゾンの中を冒険しているような気分になります。

こんなことができる!

### 「水の上でも、水の中でも」



「ジャングル」をこぎ進む一行

「セロ」のどっけおき!



「セロ」のどっけおき!

### 「ログバレスキャンピンの前」

私のオススメスポットは「ログバレスキャンピンの前」です。キャンプ場のメイン通路から少し奥へ入った場所にあるログバレスキャンピンの前には少しスペースがあります。あるキャンプでは、そのスペースを中心に生活空間を作り上げます。通路の入り口にゲートを作ったり、タープを張ったり、思い思いのスペースを作り上げます。ご飯も食堂から持ち出し、自分たちの生活空間で食べます。野外料理を行う時も、近くにかまどを作ることができます。入り組んだ場所にあるため、秘密基地のような感覚になり、私はいつでもこの場所に戻ってきたいです!

滋賀県近江八幡市

今道 仙人 (リーダー名:セロ)



琵琶湖の中で、綱引きをする

このスポットが自慢!

### 「チミケップ湖は最高の場所」

チミケップ国際キャンプ場、通称「チミ」。ここは面白さと温かさにあふれた個性豊かなキャンプ場です。北海道の山の中にあります。キャンプ場の目の前には湖が広がっています。チミケップ湖……さまざまな生き物の暮らす場所。とてもきれいな私たちの自慢の場所です。この湖ではカヌーなど、いろいろな活動を行っています。いくら北海道といえども夏は暑いので水辺での活動は最高です! 老若男女問わず、みんなが大好きなチミケップ湖は、キャンプ場に欠かせない最高の場所の一つです。

「チミ」のどっけおき!



「チミ」のどっけおき!

### 「チミケップ湖」に……ダイブ!



「チミケップ湖」に……ダイブ!

## ユースリーダーによる「私のキャンプ場自慢!」

# YMCAキャンプ場めぐり

全国には、YMCAのキャンプ場・キャンプ施設が25あります(2017年5月現在)。キャンプで山や森や草原、海や湖や川を訪れた子どもたちは、何通りもの景色を見、想像を超えて広がる世界を体験します。ここは大きな自然に包まれ、いのちに触れる場所。友達とつながり、自分と出会う場所なのです。今号では、隣で一緒に笑ったり、遊んだりしながら、子どもの成長を見守るユースボランティアリーダーが、おすすめのスポットやアクティビティを紹介、そして秘密の「お気に入り」の場所も、そっと私たちに教えてくれます。

<全国YMCAキャンプ場・施設一覧は、こちらをご覧ください>  
<http://www.ymcajapan.org/access/hotel.html>

## うちの自慢のキャンプ場 ①

## 北海道YMCA 「チミケップ国際キャンプ場」

北海道網走郡

森本 ひなこ (リーダー名:リーフ)



「リーフ」のどっけおき!

「リーフ」のどっけおき!

「メインホール」

全く隠れていない隠れた名所は「メインホール」。ここでは、毎日の食事や室内でできる活動を行います。中に入ると、一面に所狭しと貼られている「メモリアルボード」が目につきます。これは、「誰がどんなキャンプに参加したか」をキャンパーたちがデザインして作ったものです。天井を見上げて、去年の自分のボードを探し出せば、楽しい思い出を振り返ることができます。台湾、アメリカ、ロシア……世界中からキャンパーやリーダーが集ってきた「チミケップ」の歴史を、この一枚一枚が、今も身近に感じさせてくれます。

このスポットが自慢!

### 「チミケップ湖は最高の場所」

チミケップ国際キャンプ場、通称「チミ」。ここは面白さと温かさにあふれた個性豊かなキャンプ場です。北海道の山の中にあります。キャンプ場の目の前には湖が広がっています。チミケップ湖……さまざまな生き物の暮らす場所。とてもきれいな私たちの自慢の場所です。この湖ではカヌーなど、いろいろな活動を行っています。いくら北海道といえども夏は暑いので水辺での活動は最高です! 老若男女問わず、みんなが大好きなチミケップ湖は、キャンプ場に欠かせない最高の場所の一つです。

「チミ」のどっけおき!

### 「山でも、湖でも」

断言しますが、ここでは面白くありません! 山登り、釣り、アーチェリー、ロープダイビング、アウトドアクッキング、カヌーなど、大自然の中は、楽しい活動が盛りだくさんです。キャンプ場から少し離れたところにある鹿の洞窟では、化石発掘もできます。日が暮れても心踊る活動は終わりません。夜の森を探検してホタルを見たり、湖でエビ捕りしたり、キャンプファイヤーをしたり、星を見ることもできます。特に晴れた日の星空は必見です。あまりにもきれいで眩惑するほど……一度目にしたらとても忘れることはできません。

このスポットが自慢!

### 「グラウンドの片隅にある、巨大な穴」

名物と言えば……そう! 泥プールです! 広いグラウンドの片隅にある巨大な穴が泥遊びの舞台です! いったん泥プールに入れば、みんな全身泥だらけ! もう誰だか分からなくらい全身を泥で覆われる体験ができるのも、赤城キャンプならではの魅力です。泥だらけのお友達やリーダーを見てお互い笑わずにはいられない、そんな楽しい時間を過ごすことができます(キャンプ後1週間は、耳から砂が出てくるという噂があったり、なかつたり……?)。

このスポットが自慢!

### 「ナイトハイクも、ミニナイトサファリも」

楽しみは昼間だけではなく! 夜になって空を見上げればそこには満天の星が広がっています。みんなで星空観賞ができるのは、山々に囲まれた自然豊かな赤城キャンプだからこそです! そして、もう一つのオススメは「ナイトハイク」! 懐中電灯の明かりだけを頼りに、ドキドキワクワクの冒険の旅に挑戦することができます。リスやシカ、イノシシなど野生の動物に遭遇するかも!? 「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

## ぐんまYMCA 「赤城キャンプ」

群馬県前橋市

松本 紗季 (リーダー名:こえだ)

このスポットが自慢!

### 「グラウンドの片隅にある、巨大な穴」

名物と言えば……そう! 泥プールです! 広いグラウンドの片隅にある巨大な穴が泥遊びの舞台です! いったん泥プールに入れば、みんな全身泥だらけ! もう誰だか分からなくらい全身を泥で覆われる体験ができるのも、赤城キャンプならではの魅力です。泥だらけのお友達やリーダーを見てお互い笑わずにはいられない、そんな楽しい時間を過ごすことができます(キャンプ後1週間は、耳から砂が出てくるという噂があったり、なかつたり……?)。

このスポットが自慢!

### 「ナイトハイクも、ミニナイトサファリも」

楽しみは昼間だけではなく! 夜になって空を見上げればそこには満天の星が広がっています。みんなで星空観賞ができるのは、山々に囲まれた自然豊かな赤城キャンプだからこそです! そして、もう一つのオススメは「ナイトハイク」! 懐中電灯の明かりだけを頼りに、ドキドキワクワクの冒険の旅に挑戦することができます。リスやシカ、イノシシなど野生の動物に遭遇するかも!? 「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

## うちの自慢のキャンプ場 ②

このスポットが自慢!

### 「グラウンドの片隅にある、巨大な穴」

名物と言えば……そう! 泥プールです! 広いグラウンドの片隅にある巨大な穴が泥遊びの舞台です! いったん泥プールに入れば、みんな全身泥だらけ! もう誰だか分からなくらい全身を泥で覆われる体験ができるのも、赤城キャンプならではの魅力です。泥だらけのお友達やリーダーを見てお互い笑わずにはいられない、そんな楽しい時間を過ごすことができます(キャンプ後1週間は、耳から砂が出てくるという噂があったり、なかつたり……?)。

このスポットが自慢!

### 「ナイトハイクも、ミニナイトサファリも」

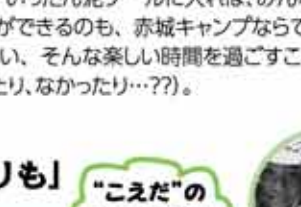
楽しみは昼間だけではなく! 夜になって空を見上げればそこには満天の星が広がっています。みんなで星空観賞ができるのは、山々に囲まれた自然豊かな赤城キャンプだからこそです! そして、もう一つのオススメは「ナイトハイク」! 懐中電灯の明かりだけを頼りに、ドキドキワクワクの冒険の旅に挑戦することができます。リスやシカ、イノシシなど野生の動物に遭遇するかも!? 「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

## うちの自慢のキャンプ場 ③

このスポットが自慢!

### 「水の上でも、水の中でも」



琵琶湖の中で、綱引きをする

「セロ」のどっけおき!



「セロ」のどっけおき!

### 「ログバレスキャンピンの前」



「セロ」のどっけおき!

私のオススメスポットは「ログバレスキャンピンの前」です。キャンプ場のメイン通路から少し奥へ入った場所にあるログバレスキャンピンの前には少しスペースがあります。あるキャンプでは、そのスペースを中心に生活空間を作り上げます。通路の入り口にゲートを作ったり、タープを張ったり、思い思いのスペースを作り上げます。ご飯も食堂から持ち出し、自分たちの生活空間で食べます。野外料理を行う時も、近くにかまどを作ることができます。入り組んだ場所にあるため、秘密基地のような感覚になり、私はいつでもこの場所に戻ってきたいです!

「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!

## うちの自慢のキャンプ場 ④

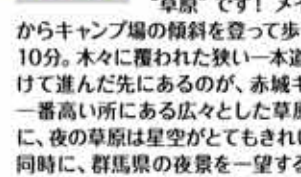
このスポットが自慢!

### 「チミケップ湖は最高の場所」



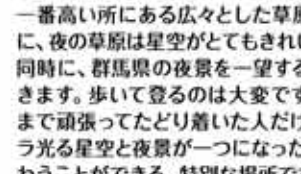
「チミ」のどっけおき!

「チミ」のどっけおき!



「チミ」のどっけおき!

### 「チミケップ湖」に……ダイブ!



「チミケップ湖」に……ダイブ!

私の一押しスポットは、「草原」です! メインホールからキャンプ場の傾斜を登って歩くこと5~10分。木々に覆われた狭い一本道をかき分けて進んだ先にあるのが、赤城キャンプで一番高い所にある広々とした草原です。特に、夜の草原は星空がとてきれいに見え、同時に、群馬県の夜景を一望することもできます。歩いて登るのは大変ですが、草原まで頑張りついでにたどり着いた人だけがキラキラ光る星空と夜景が一つになった絶景を味わうことができる、特別な場所です。

「ミニナイトサファリ」も、ぜひ体験してみてください!



# NEWS

各地の動きをご紹介します。

## ●「広島YMCAフィリピンワークキャンプ2017」報告 —広島YMCA

広島YMCAは、3月15日から15日間、フィリピン・セブ島でワークキャンプを実施しました。このワークキャンプは、広島県在住の大学生・専門学校生を対象に1992年から継続している、広島YMCAの公益事業です。YMCAの海外の広がりを活用し、「将来役立つグローバルな経験を通して主体的に考え、行動することができる若者を育て、



スラム街で炊き出しをする学生たち

地域社会の一助となる」ことを目的としています。毎年、フィリピン・セブYMCA、米国・ホノルルYMCAと協働し、災害復興支援と環境整備のためのさまざまなボランティアワークをメインテーマに、現地の人びとや他の国からの参加者との国際交流をサブテーマに実施しています。

今年是一般公募による男女16人の学生が参加し、事前研修を重ねて準備を行い、現地では次の活動を行いました。

- スラム街などでの、ストリートチルドレンや路上生活者への炊き出しと交流
  - セブYMCA、ホノルルYMCA、ホノルルロータリークラブ、ハワイの大学からの参加者など42人と共に、2013年の台風30号(フィリピン名:ヨランダ)で被災した地域の小学校での、バスケットボールコート建設、道路舗装、校舎のペンキ塗り、環境整備、国際交流など
  - フィリピンの日常生活や自然体験、異文化体験、環境保護の学習など
- 将来の夢や専攻、海外経験、語学力などの異なる16人の学生は、「1つのチームとして協力し合う」「自分を見つめ直す、逃げない」という決意の下、寝食を共にしながら、さまざまな活動を行いました。今回のワークキャンプは、「日本とは異なる社会問題や文化」「人とつながることの大切さ、素晴らしさ」を実感し、「生きること」「幸せ」について深く考える機会となりました。フィリピンで得た学びや気付き、感謝の気持ちが一人ひとり生かされ、今後の行動につながっていくことを願っています。

広島YMCA 林 健太郎

## ●復興支援報告 —横浜YMCA・熊本YMCA

### ◆「横浜YMCA熊本・東北復興応援ナイター」を実施

横浜YMCAでは、熊本地震前震発生から一年となった4月14日に、「横浜YMCA熊本・東北復興応援ナイター(横浜DeNAベイスターズ対東京ヤクルトスワローズ戦)」を行い、東日本大震災の影響で福島県などから神奈川県内に転居している家族に、楽しい時間を過ごしてもらおうと27家族96人を招待しました。また、購入金額の一部が熊本地震復興支援募金になるスペシャルチケットを326人に購入していただくことができました。始球式と記念品贈呈では、招待家族の子どもたちが活躍し、記念品として両チームの選手に福島の伝統工芸品「ふくべこ」をプレゼントしました。



始球式、記念品贈呈で活躍した子どもたちと横浜DeNAベイスターズ ラミレス監督

この他にも、横浜中央YMCA放課後児童クラブの子どもたちが募金を呼び掛け、35,689円が寄せられ、チャリティーブースでは、熊本と福島の物産展でそれぞれの名産が並び、震災を忘れずに復興への思いを多くの人と共にすることができました。

横浜YMCA 大塚 英彦

### ◆「熊本未来笑店街」を開催

熊本地震から1年が経過した4月。県内各地で復興イベントが催される中、4月15日、熊本YMCAでは約半年にわたって避難所として運営した御船町スポーツセンターで「熊本未来笑店街」を開催しました。テーマは「進もう、前へ」。復興へ向かう歩幅やスピードはそれぞれです。被災者・支援者が共に未来を描き、その未来が笑顔で包まれるようにとの想いを名称に込めました。

前熊本県総務部長の木村敬さん、全国災害ボランティア支援団体ネットワークの栗田暢之さん、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんによるパネルディスカッションでは、「一人一人の姿が見えにくくなるからこそ求められる支援がある」「それぞれが役割を見つけ、やりがいを感じていける社会をつくっていききたい」などの意見が交わされました。



「ふっこう商店街」とチラシ

この他、地元商工会などの協力で開催した「ふっこう商店街」や映画上映会に地域住民や全国の支援者などが集い、未来へ向け歩みを進める機会になりました。

熊本YMCA 因幡 亮治

## アジア・世界のYMCAから

### ◆2017オルタナティブツーリズム募集開始 —世界YMCA同盟

2017年のオルタナティブツーリズムの募集が始まりました。マレーシア、スリランカ、ネパール、ベラルーシ、アメリカ、ルーマニア、カンボジア、パレスチナを訪問する8つのツアーです。このツアーは「観光拠点」と「現地のYMCAの見学や体験」を組み合わせたユニークな内容で、YMCAの会員にかかわらずどなたでも参加いただけます。



2016オルタナティブツーリズム(カンボジア)

2017オルタナティブツーリズムの詳細はHP(英文)でご確認ください。 <https://goo.gl/j9qGQD>

### ◆「同盟方針・計画」をユースが考える —ヨーロッパYMCA同盟

ユースによるヨーロッパYMCA同盟の方針策定グループの会議が、2月10~12日にベルギーのブリュッセルで開催されました。このグループメンバーはヨーロッパの8つのYMCAから選出された22~30歳の9人です。目的は同盟方針・計画の草案を作成することでした。テーマは「ユースエンパワーメント」「移民」「若者の失業」「平和と正義」です。活発な議論が行われ、草案が完成しました。このプロセスこそがユースエンパワーメントであり、ユースにはこのような場が必要です。草案は、執行委員会に委ねられ、承認後はHPで公開されます。

### ◆ジェンダーと社会変革のためのワークショップ —アジア・太平洋YMCA同盟

公正なジェンダーの実現を目指すアジア・太平洋YMCA同盟は、4つ(東アジア・東南アジア・南アジア・太平洋)の地域で5日間のワークショップを実施します。4月はインドのニューデリー(南アジア)、6月は香港(東アジア)が会場です。このワークショップは、ジェンダーの理解に影響を与える国・地域の文化や慣習に基づいてプログラムが企画されました。公正なジェンダーの実現のためには、女性と男性、性的少数者それぞれの立場から理解を深めていくことが最も重要です。

●上記トピックの詳細は、日本YMCA同盟HPの「世界のYMCA」ページよりご覧いただけます。 <http://www.ymcajapan.org/world/index.html>

## ●2017年度全国YMCA インターナショナル・チャリティーラン開催



みんなで楽しくラン!(2016年度埼玉YMCAインターナショナルチャリティーランより)

全国のYMCAでは、障がいのある子どもたちが楽しみながら活動範囲を広げ、自らの可能性を伸ばすことを願ってキャンプや水泳、アートなどの諸活動を行なっています。これらを支援するために1987年から国際賛助会(FCSC)の働き掛けにより「全国YMCAインターナショナル・チャリティーラン」がスタートし、2016年度は約7,300人のランナー、ボランティア・スタッフを含めた14,000人以上が参加し、約4,500万円の収益がありました。

今年度は全国21カ所で開催されます。ぜひお近くのチャリティーランを周りの方々に知らせいただき皆さまと一緒に参加ください。収益金は、全国のYMCAが行なう障がい児プログラムの支援に用いられます。

### YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2017 開催スケジュール

YMCA	開催期	開催日/場所
北海道	第22回	5月14日(日) 真駒内公園ジョギングコース
京都	第13回	5月21日(日) 鴨川公園
和歌山	第5回	5月21日(日) 市民スポーツ広場 紀ノ川河川敷特設コース
滋賀	第2回	6月4日(日) 希望ヶ丘文化公園
山梨	第20回	6月10日(土) 小瀬スポーツ公園補助競技場
とちぎ	第12回	6月25日(日) 栃木県総合運動公園
盛岡	第1回	9月23日(祝・土) 岩手県立大学
東京	第31回	9月23日(祝・土) 木場公園
仙台	第23回	9月23日(祝・土) 東北学院大学 泉キャンパス
横浜	第20回	10月14日(土) みなとみらい21臨港パーク
大阪	第23回	10月15日(日) 花博記念公園鶴見緑地
千葉	第20回	10月21日(土) 船橋市運動公園
奈良	第6回	10月22日(日) 平城宮跡
茨城	第4回	10月28日(土) 河峰公園
神戸	第20回	11月3日(祝・金) しあわせの村
埼玉	第18回	11月3日(祝・金) 航空記念公園
名古屋	第24回	11月4日(土) 名城公園
福岡	第8回	11月5日(日) 大濠公園・真珠公園
広島	第23回	11月23日(祝・木) 広島中央公園
鹿児島	第8回	11月25日(土) 鹿児島県立吉野公園 運動芝生広場
熊本	第2回	12月10日(日) 熊本県農業公園 カントリーパーク

●詳細は各YMCAにお問い合わせください。

主催:各YMCA  
共催:ワイズメンズクラブ国際協会東・西日本区、日本YMCA同盟 国際賛助会  
全国協賛:三菱商事株式会社、富士通株式会社  
全国後援:内閣府、厚生労働省、(福)全国社会福祉協議会